

決算・業績予想ダイジェスト

2025年度第3四半期決算

減収・減益（2024年度に続き2年連続）

- 売上高は、販売電力量（小売）が減少したことなどから減収
- 経常利益は、女川原子力発電所2号機の再稼働や、燃料費調整制度のタイムラグ影響による差益の増加などの収支改善があったものの、市場や販売環境の変化に伴う収支悪化や、送配電事業における需給調整費用の増加などから減益

2025年度業績予想および配当予想

2025年4月公表時から

変更なし

➤売上高 1兆7,272億円（前年同期に比べ1,932億円の減）

… 販売電力量（小売）が減少したことなどから減収。

➤経常利益 1,636億円（前年同期に比べ198億円の減）

… 女川原子力発電所2号機の再稼働や、燃料費調整制度のタイムラグ影響による差益の増加などの収支改善があったものの、市場や販売環境の変化に伴う収支悪化や、送配電事業における需給調整費用の増加などから減益。

**➤親会社株主に帰属する四半期純利益
1,157億円（前年同期に比べ121億円の減）**

【連結決算の概要】

(単位：億円)

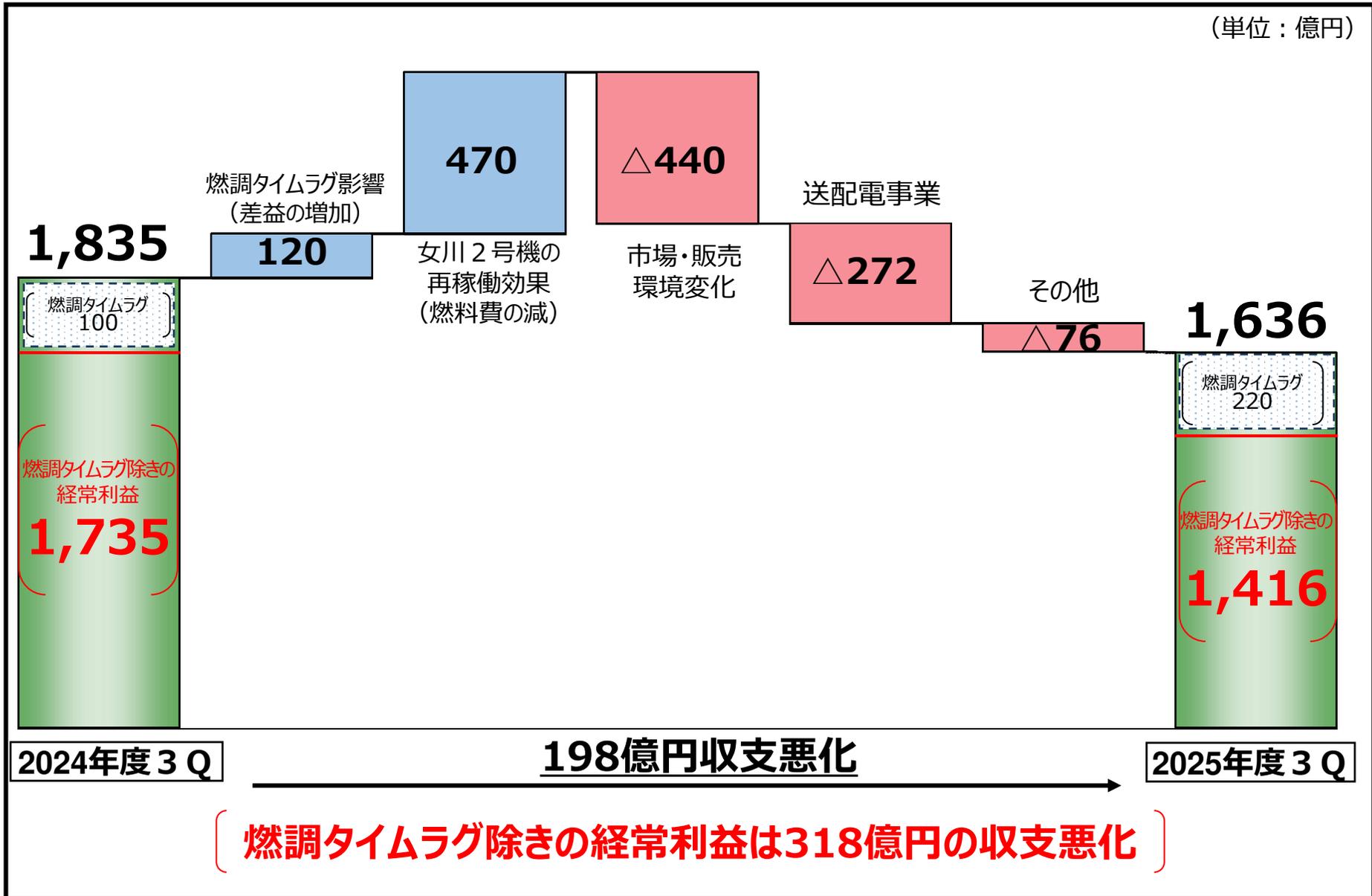
	2024年度3Q (A)	2025年度3Q (B)	増減 (B) - (A)	前年同期比 (B) / (A)
売上高	19,204	17,272	△1,932	89.9 %
経常利益※	1,835 [1,735]	1,636 [1,416]	△198 [△318]	89.2 % [81.7 %]
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,279	1,157	△121	90.5 %

※ []内は、燃料費調整制度のタイムラグ影響除きの値。

連結経常利益の前年同期からの変動要因

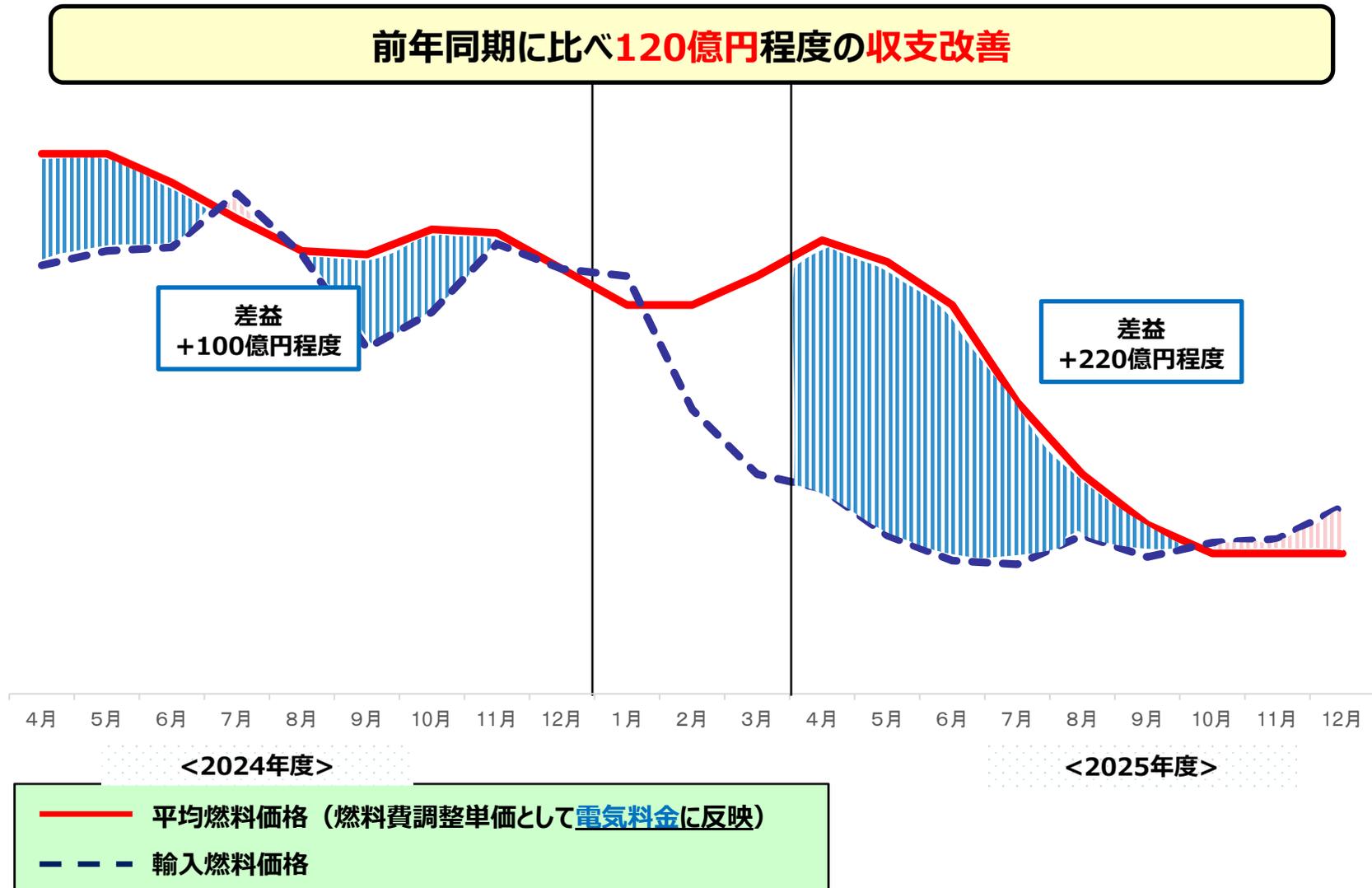
変動額 Δ 198億円 (1,835億円 \rightarrow 1,636億円)

(単位：億円)



(参考) 燃料費調整制度のタイムラグ影響

▶ 前年同期の燃料費調整額のタイムラグ影響はプラス100億円（差益）だったのに対し、当期はプラス220億円（差益）となり、**差引でプラス120億円の収支改善**となった。



電力販売実績・主要諸元

➤ **小売** (電灯・電力) **414億kWh (前年同期に比べ20億kWhの減)**

…競争進展に伴う契約切り替えや産業用における稼動減など。

➤ **卸売** **160億kWh (前年同期に比べ36億kWhの増)**

…相対卸売の増など。

【電力販売実績】

(単位：百万kWh)

【販売実績】※1	2024年度3Q (A)	2025年度3Q (B)	増減 (B) - (A)	前年同期比 (B) / (A)
電灯	12,772	12,872	100	100.8 %
電力	30,585	28,507	△ 2,078	93.2 %
小売※2計	43,356	41,380	△ 1,976	95.4 %
卸売※3	12,452	16,031	3,579	128.7 %
販売計	55,809	57,411	1,602	102.9 %

※1 東北電力個社値であり、送配電事業を除く。

※2 「小売」は、事業用電力量を含む。

※3 「卸売」は、特定融通等を含む。

【主要諸元】

	2024年度3Q (A)	2025年度3Q (B)	増減 (B) - (A)
原油C I F価格 (\$ / b b l)	83.7	72.9	△ 10.8
為替レート (円 / \$)	153	149	△ 4
出水率 (%)	83.0	99.4	16.4
原子力設備利用率 (%)	3.3	29.0	25.7

セグメント情報（連結）

6

（単位：億円）

	2024年度3Q (A)		2025年度3Q (B)		増減 (B) - (A)		主な増減要因
	売上高*	経常利益	売上高*	経常利益	売上高*	経常利益	
発電・販売	15,768	1,828	14,457	1,780	△ 1,311	△ 48	<ul style="list-style-type: none"> ・販売電力量（小売）の減少などにより減収 ・女川原子力発電所2号機の再稼働による収支改善があったものの、市場・販売環境変化などにより減益
	14,895		13,459		△ 1,436		
送配電	6,627	139	6,538	△ 132	△ 89	△ 272	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季の高気温による基準託送料金の増加があったものの、系統運用の電力量減少などによる販売電力料の減少などにより減収 ・需給調整費用の増加などにより減益
	3,373		3,450		77		
その他	2,114	151	1,089	115	△ 1,025	△ 36	<ul style="list-style-type: none"> ・ユアテックが連結子会社から持分法適用会社に変更となったことなどにより減収 ・総合設備エンジニアリング事業において、外注費や固定経費の増加などにより減益
	935		362		△ 573		
小計	24,510	2,119	22,084	1,763	△ 2,426	△ 356	
調整額	△ 5,306	△ 284	△ 4,811	△ 126	494	158	
連結値	19,204	1,835	17,272	1,636	△ 1,932	△ 198	

※ 売上高の下段は、外部顧客に対する売上高。

財政状態（連結）

7

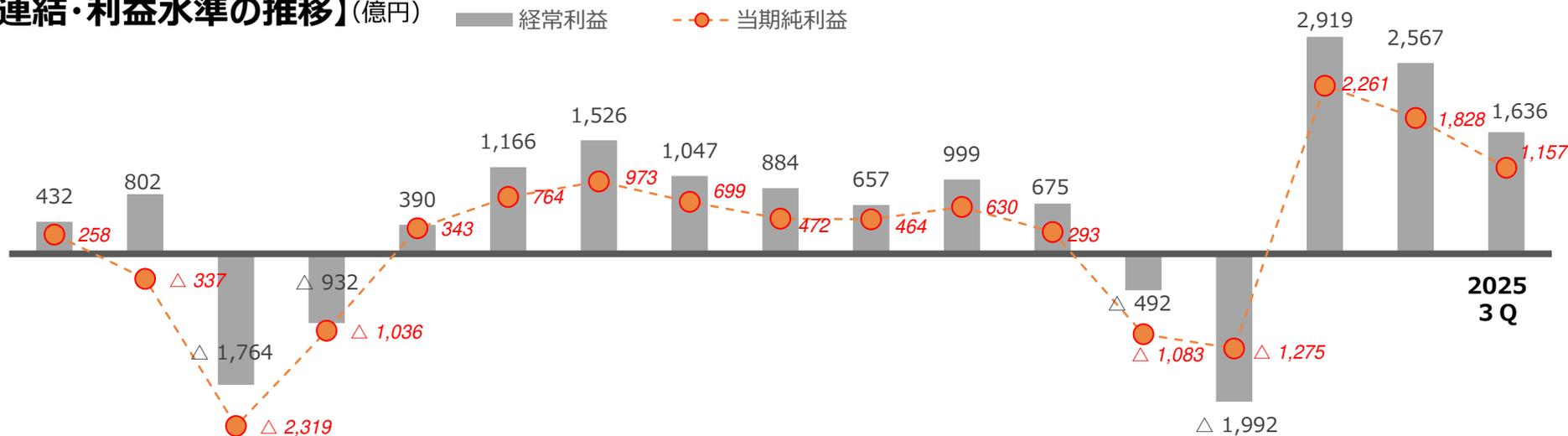
(単位：億円)

	2024年度末 (A)	2025年度3Q末 (B)	増減 (B) - (A)	主な増減内容
総資産	53,982	55,057	1,075	
固定資産	42,562	43,622	1,059	固定資産仮勘定 1,195 外
流動資産	11,419	11,435	15	
負債	43,894	43,862	△ 31	
固定負債	32,377	33,163	785	長期借入金 1,202、社債 △400 外
流動負債	11,516	10,699	△ 817	支払手形及び買掛金 △472 1年以内に期限到来の固定負債 △131 外
純資産	10,088	11,194	1,106	親会社株主に帰属する四半期純利益 1,157 外
有利子負債残高	33,369	34,042	672	長期借入金 1,082、社債 △400 外
自己資本比率	18.3% (20.8%※)	19.9% (22.4%※)	1.6% (1.6%※)	

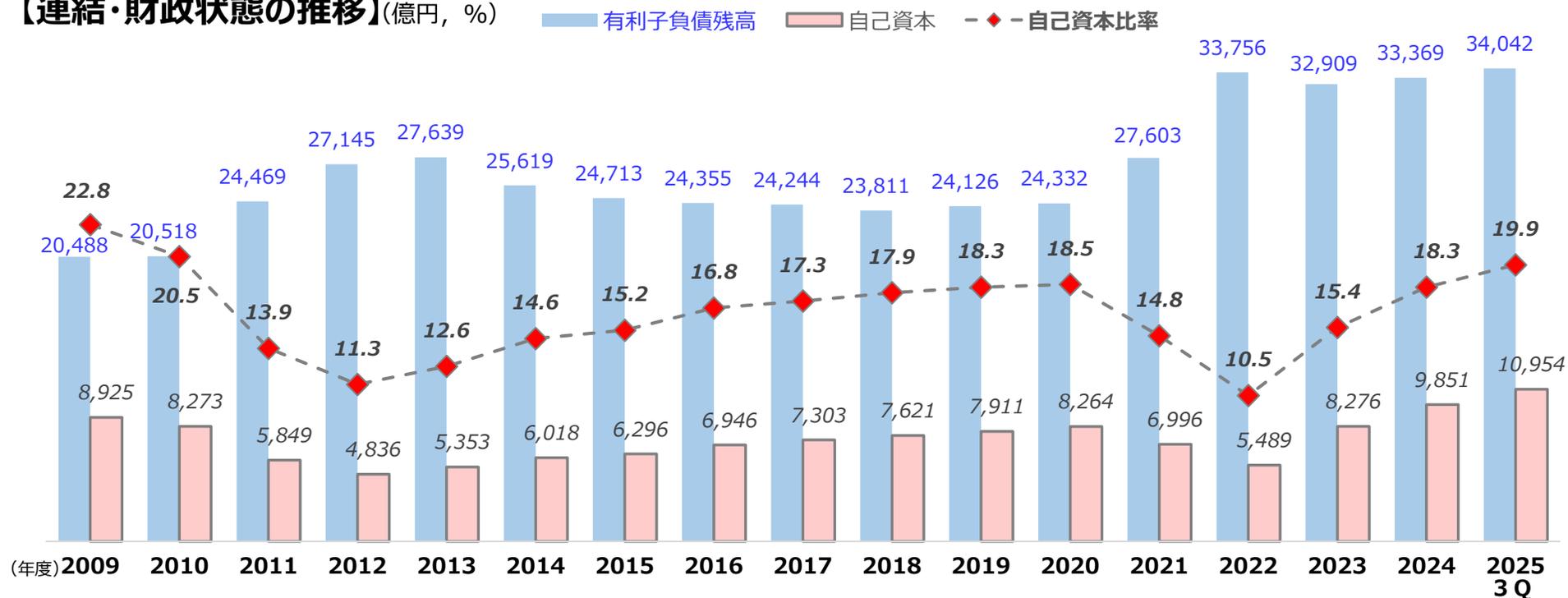
※ 発行済のハイブリッド社債のうち、発行額の50%(1,400億円)を自己資本とした場合の自己資本比率。

利益水準・財政状態の推移 (連結)

【連結・利益水準の推移】(億円)



【連結・財政状態の推移】(億円, %)



2025年度 業績予想および配当予想

■ 連結業績予想（2025年4月公表値から変更なし）

（単位：億円）

	売上高	営業利益	経常利益※	親会社株主に帰属する当期純利益
通 期	24,500	2,200	1,900 [1,700]	1,350

※ []内は、燃料費調整制度のタイムラグ影響除きの参考値。足元の状況を踏まえ、2025年4月公表の1,900億円から修正。

■ 主要諸元

		2024年度 実績	2025年度 見通し※1
販売電力量※2 (億kWh)	小 売	609	592 程度
	卸 売	171	218 程度
	合 計	780	810 程度
原油CIF価格 (\$/bbl)		82.4	72 程度
為替レート (円/\$)		153	148 程度
原子力設備利用率 (%)		10.0	22.6 程度

※1 2025年10月公表値を参考として掲載

※2 東北電力個社値であり、送配電事業を除く。

■ 収支変動影響額※1※2（単位：億円）

原油CIF価格(1\$/bbl)	21 程度
為替レート(1円/\$)	28 程度
原子力設備利用率(1%)	23 程度

※1 2025年10月公表値を参考として掲載

※2 費用の感応度（年間ベース）

■ 中間配当・期末配当予想（2025年4月公表値から変更なし）

（単位：円）

	中 間	期 末 (予想)	年 間 (予想)
1株当たりの配当金	20	20	40